

令和元年度第1回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和元年度7月18日（木）午後2時15分から

2 開催場所 小牧市役所本会議用控室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 西部支配人

城 田 貴 央
(牛山隆司 代理)

名鉄バス(株) 運行課長

吉 岡 実

あおい交通(株) 代表取締役

松 浦 秀 則

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江 川 修

愛知県タクシー協会 副会長

小 川 健 司

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

熊 谷 浩 明

小牧市区長会 連合会長

細 敏 雄

小牧市区長会 連合副会長

小 柳 松 夫

小牧市女性の会 会計

林 順 子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯 部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

小 川 賢 二

愛知県都市整備局 交通対策課主幹

渡 邊 重 之
(安藤悠太 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

加 藤 泰 史

犬山市 市民部 地域安全課長

百 武 俊 一

豊山町 産業建設部 産業・都市政策課長

高 桑 悟

小牧市 健康福祉部長

山 田 祥 之
(伊藤俊幸 代理)

小牧市 都市建設部長（都市整備担当）

前 田 勝 利

(2) 事務局

小牧市 都市建設部 都市政策課長

永 井 浩 仁

小牧市 都市建設部 都市政策課長補佐

平 野 淳 也

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係長

松 浦 善 行

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事

亀 谷 俊 太

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事

上 條 稔 貴

(3) 傍聴者

0 名

4 欠席者

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事
小牧市老人クラブ連合会
愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長
小牧市 都市建設部長（建設担当）

小 林 裕 之
西 尾 厚
安 井 文 規
平 岡 健 一

5 報告

- (1) 小牧市地域公共交通網形成計画に基づく事業について
- (2) 令和 2 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）について

6 会議資料

資料 1 小牧市地域公共交通網形成計画に基づく事業
資料 2 令和 2 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）について
参考資料 小牧市地域公共交通網形成計画（概要版）
参考資料 こまき巡回バス利用者数
参考資料 小牧市地域公共交通会議委員名簿

7 議事内容

【事務局】（平野補佐）

定刻となりましたので、ただいまより、令和元年度第 1 回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

事務局を代表いたしまして、都市政策課長の永井よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】（永井課長）

本日は大変お忙しい中、そしてお足元の悪い中、お越しいたきまして誠にありがとうございます。

本年 2 月に開催して以来の地域公共交通会議です。本日は、平成 30 年 3 月に本会議にて策定いたしました、地域公共交通網形成計画に基づき実施した事業の報告及び令和 2 年度に予定をしております、こまき巡回バスの再編方針・ルート（案）についてご報告させていただきます。

委員の皆様には活発な意見をお願いいたしまして私からの挨拶とさせていただきます。

【事務局】（平野補佐）

本日の出席委員は、委員総数 21 名に対し 17 名であり、過半数に達しておりますので、小牧市地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項の規定により本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それではまず、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

まず、事前にお配りをさせて頂いておりますが、本日の次第、それから資料 1 として「小牧市地

域公共交通網形成計画に基づく事業」、資料 2 として「令和 2 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）について」、参考資料として「小牧市地域公共交通網形成計画（概要版）」の冊子、本日机上にお配りしました参考資料として「小牧市地域公共交通会議委員名簿」、及び「こまき巡回バス利用者数」、最後に、本日、中部運輸局様よりいただきました「活発で良い議論ができる会議のために。」と書かれたパンフレットでございます。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や、不足、乱丁等ございましたら事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

続きまして、前回お集まりいただいた昨年度第 3 回の会議以降において、委員の交代がございましたので、お名前を読み上げ、ご紹介に代えさせていただきます。

名古屋鉄道㈱西部支配人であります、城田貴央様、愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事であります熊谷浩明様、小牧市区長会連合会長であります細敏雄様、小牧市女性の会会計であります林順子様、中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官であります小川賢二様、愛知県都市整備局交通対策課主幹であります渡邊重之様、愛知県尾張建設事務所維持管理課長であります安井文規様、小牧市健康福祉部長であります山田祥之様、小牧市都市建設部長であります前田勝利様でございます。委員交代後の名簿につきましては、参考資料「小牧市地域公共交通会議委員名簿」をご確認ください。

また、本日は、名古屋鉄道㈱西部支配人の城田委員に代わり同小牧駅長の牛山様に、愛知県都市整備局交通対策課主幹の渡邊委員に代わり同交通対策課主事の安藤様に、小牧市健康福祉部長の山田委員に代わり同次長の伊藤様にそれぞれご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

それでは会議を始めるにあたりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

中部大学の磯部でございます。よろしくお願いします。

小牧市としては、先ほどご紹介にありましたとおり、交通網形成計画を作成して 1 年が経ったので、今日はその報告があるということでございます。

話は変わりますが、大雨で特に九州が大変なことになっております。毎年どこかで災害、特に雨による災害が多いと感じます。

私は土木の分野なので、災害が起きないような街づくりというのを頑張ってきたつもりですが、最近は無理だといったことを技術者の立場から言うようになってきました。それだけ今は災害が多くなってきているということで、早めに逃げた方が良いという話です。

実は駿河湾沖地震が起きそうだとされたときに、地震は予知できると言われ、予知出来たら新幹線をどうやって止めるかといった国全体の計画がありましたが、それも無理だという話で方向が変わってきました。

じゃあ雨災害はどうなんだという話で、最近はかなり正確に予測ができる時代になってきた、今日一日この地域でどういう雨が降るかというのが分かるようになってきたということです。

よくあるのが、朝出かけて大雨になった際、バスもタクシーも生身の人が運転しているので、災害の時は動けないので、そうすると帰れなくなってしまいます。だったら初めから出かけなければ

いいという話も出てくるかもしれませんが。

それぐらいしっかりとした情報ができているのなら、私はまだそこまで勉強できておりませんが、気象情報、災害情報、交通情報などを絡めた、大きな情報に関する取り組みができたらいいなと思っております。

私は大きな災害が起きそうなら、外出を控える方ですが、そういったことも情報の正しい使い方かなと思います。

災害の時だけでなく、普段の交通も大事なので、そういういろんな場面を考えて、動かす方、乗る方など様々な立場から議論していただけたらと思います。よろしくお願いします。

【事務局】（平野補佐）

ありがとうございました。

以後の議事進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思います。

磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

初めに、本会議は公開が原則となっておりますが、傍聴の申し込みがありませんでした。

それでは、会議を進行してまいります。

まず初めに、中部運輸局さんから資料をいただいておりますので、そちらの説明をしていただきます。

【小川委員】

愛知運輸支局の小川と申します。よろしくお願いいたします。

皆さんのお手元に「活発で良い議論ができる会議のために。」と書かれたパンフレットを配らせていただいております。

これは、以前にも配布させていただいておりますが、今年度初めての会議ということと、新任の委員の方も何人かお見えになりますので、さわりだけご説明をさせていただきたいと思います。

1 ページを開いていただくと、全国の地域公共交通が大ピンチですということで、バスの輸送人員が減って運転手不足も重なり、大変深刻な状況になっています。

そういった中で、各自治体さんが頑張っていただいて、こういう地域公共交通会議を開いていただいて、その中で地域にふさわしい地域公共交通を事業者さんだけでなく、地域の方々も一緒になって、事業者さんや私たち行政と一緒に、関係者皆さんで話し合って決めていきたいと思いますという場が、この公共交通会議であります。

2 ページを見ていただくと、こんなことを話し合ふんですよということが書いてあります。

そうは言ってもこういった会議の場でなかなか思うように発言等ができないということもこれからあると思います。

3、4 ページを開いていただきますと、会議の参加者とその役割ということで、委員名簿にもございますが、それぞれの委員に指名された方の役割というものがございます。

住民代表、学識経験者、交通事業者、事務局、道路管理者、警察等それぞれに立場があって、その立場に立ったご意見をぜひご発言いただいて、皆さんで話しやすい場を作っていただければと思います。

次のページを開いていただくと、こういったことを踏まえて議論いただくと、意見がスムーズに、活発に出し合えるようになりますよということで、6 ページの最後に地域公共交通会議をよくするポイントとして、バスやタクシーなどいろいろなモードがあり、それぞれの役割を踏まえながら、地域の将来など広い視野をもって、お互いの立場の意見をしっかり聞いて、理解し合って、いい公共交通になるように進めていただければと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

【磯部会長】

この地域公共交通会議というのはいろいろな方が集まっているからこそ意味がある。その方々と共有し、分からないことがあれば質問していただければと思います。

次は報告(1)「小牧市地域公共交通網形成計画に基づく事業について」であります。

この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】(松浦係長)

それでは、報告「(1)小牧市地域公共交通網形成計画に基づく事業について」、ご説明申し上げます。

お手元の参考資料、「小牧市地域公共交通網形成計画概要版」の3 ページをお願いいたします。

本会議にて平成 30 年 3 月に策定いたしました、小牧市地域公共交通網形成計画では、計画の目標を定め、その目標を達成するための事業を、＜施策 1＞公共交通ネットワークの構築、4 ページとなりますが、＜施策 2＞交通結節機能の強化、＜施策 3＞公共交通の利用促進、5 ページとなりますが、＜施策 4＞持続可能な交通サービス提供の 4 つの視点でまとめ、設定しています。

では、資料 1「小牧市地域公共交通網形成計画に基づく事業」をお願いいたします。なお、冊子も併せてご覧ください。

まず、昨年度実施した事業についてであります。

計画に位置付けた事業のうち、昨年度実施した事業について報告をさせていただきます。

＜施策 1＞公共交通ネットワークの構築に関する、「事業 1-4 隣接市町コミュニティバスとの連携した運行」であります。

こちらは、犬山市様が運行されています、犬山市コミュニティバスの再編において、楽田西部線を名鉄小牧線田県神社前ロータリーへ乗り入れることで、名鉄小牧線やこまき巡回バスと接続し、連携を図られたものであります。

次に「事業 1-5 名鉄小牧線の利便性向上」であります。

こちらは、名鉄小牧線の利便性向上のため、名鉄小牧線的全線複線化や、小牧駅以北の増便、高架化事業の推進等の検討、及び名古屋市営地下鉄上飯田線の平安通以南延伸について、関係機関に対し、要望活動を行ったものであります。

次に＜施策 2＞交通結節機能の強化に関する「事業 2-1 小牧市民病院、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリーのバス停の集約化」であります。

こちらは、小牧市民病院の新病棟建設に伴い、新たに公共交通専用ロータリーを設けることとしており、バス停の集約化の検討を行い交通結節機能の強化を図ったものであります。なお、供用開始は来年度の予定であります。

次に＜施策 3＞公共交通の利用促進に関する「事業 3-3 モビリティ・マネジメント」であります。

こちらは、市民団体に対し「こまき巡回バスと公共交通」をテーマとした出前講座を実施し、公共交通の利用促進を図ったものであります。

次に「事業 3-4 地域や学校との連携」であります。

こちらは、あおい交通様にもご協力いただき実施したものであり、ピーチバス車内におきまして、市内園児の絵画を掲載し、バスに愛着を持っていただくことによりマイバス意識の醸成を図ったものであります。

次に 2 ページをお願いいたします。

同じく「事業 3-4 地域や学校との連携」であります。

こちらは、市内小中学校の児童・生徒が作成したポスターのうち、優秀作品について、こまき巡回バスの車体にラッピングし、マイバス意識の醸成を図ったものであります。

次に「事業 3-5 交通事業者との連携」であります。

こちらは、環境フェアであります「いきいきこまき」において、あおい交通様にご協力いただき、バス・タクシー乗り方教室を実施し、マイバス意識の醸成を図ったものであります。

次に「事業 3-6 未利用者への PR」であります。

こちらは、市役所市民課窓口におきまして、市内転入者に対し、こまき巡回バスのコース図・時刻表を配布し、利用促進を図ったものであります。

次に同じく「事業 3-6 未利用者への PR」であります。

こちらは、小牧市ウォーキングアプリ「alko」と連携し、アプリ利用者の特典として、こまき巡回バス料金無料乗車を実施し、利用促進を図ったものであります。

次に「事業 3-8 駅前広場及び自転車等駐車場の整備」であります。

こちらは、小牧駅及び味岡駅の自転車等駐車場において、防犯カメラや啓発看板などを増設し、利用環境の向上を図ったものであります。

次に<施策 4>持続可能な交通サービス提供に関する「事業 4-3 こまき巡回バスの収入源の確保」であります。

こちらは、こまき巡回バスの車体において企業広告を実施し、約 50 万円の広告料の収入を得たものであります。

続きまして、資料の 3 ページをお願いいたします。

今年度実施事業についてであります。

計画に位置付けた事業のうち、今年度実施した新規事業、及び今年度実施予定の新規事業について報告をさせていただきます。

まず<施策 3>公共交通の利用促進に関する「事業 3-2 多様なツールによる情報提供」であります。

こちらにつきましては、今年度 5 月より実施しているものでありますが、こまき巡回バスにバスロケーションシステムを導入し、インターネット上で遅延状況等をリアルタイムに利用者へ提供できるようにしたことで、利便性の向上を図ったものであります。

参考としまして、紙面中央左にスマートフォン上でのバスロケーションシステムの画面を掲載しております。時刻表におけるリアルタイムのバスの位置や、遅延時間を確認することが可能となっております。

次に同じく「事業 3-2 多様なツールによる情報提供」であります。

こちらにつきましては、小牧市の情報などを市民に広く発信するため、広報広聴課にて運用をし

ております小牧市公式ラインアカウントにおいて、メニューに「巡回バス運行状況時刻表検索」を追加し、先ほどのバスロケーションシステムや、時刻表検索のページに簡単にアクセスすることが可能としたことで、バスロケーションシステムの周知PRとともに、利便性の向上を図ったものであります。

こちらも参考としまして、紙面中央右にスマートフォン上での小牧市公式ラインの画面を掲載しております。画面下部のメニューの左下のバスのアイコンを選択することで、バスロケーションシステムや、時刻表検索のページに簡単にアクセス可能です。

次に「事業3-7 鉄道駅のバリアフリー化」であります。

こちらは、名鉄小牧線小牧口駅において、名古屋鉄道様が、バリアフリー化工事を実施しており、バリアフリー化によって利用者の利便性の向上を図るものであります。

主な内容であります。エレベーター2基の設置や、誘導ブロックの設置などであり、供用開始時期につきましては、12月頃を予定しているとお聞きしております。

最後に「事業3-8 駅前広場及び自転車等駐車場の整備」であります。

こちらは、先ほどの名鉄小牧線小牧口駅のバリアフリー化整備工事完了後、駅東側におきまして、駅前広場、自転車等駐車場、トイレ等を整備することで、利用者の利便性向上を図るものであり、今年度末の完成をめざしております。

【磯部会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がございました。

この件につきましては報告事項であり、議決を求めるものではございませんが、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【小柳委員】

事業1-5で要望活動を実施とありますが、11月28日は私共の協議会で出かけたものだと思いますが、10月25日はどちらから行ったものか、というのが1つ目。

一番関心があるのは、事業2-1で市民病院のロータリーについてで、供用開始が来年度を予定しているとあるが、来年度といっても範囲が広いので、事業3-7や3-8のように、もう少し詳細な時期がもし分かれば教えていただきたい。

【事務局】（松浦係長）

それでは、先に市民病院ロータリーに関してお答えさせていただきます。

市民病院ロータリーの供用開始につきましては夏頃を予定しておりますが、市民病院からは解体工事のスケジュールが遅れていると伺っており、全体的なスケジュールが把握できていないため、具体的な時期につきましては記載せず、来年度という表記をさせていただいております。

要望活動につきましては、10月25日につきましては、犬山市さん、春日井市さんと組織している、名鉄小牧線全線複線化と名古屋市営地下鉄上飯田線早期建設促進期成同盟会という会議の中で要望活動をしております。

11月28日は、小柳さんも役員としてご参加されている、公共交通利用促進協議会で実施した要望活動であります。

【小川委員】

事業 3-6 で未利用者への PR とあります。参考資料を見ていると、利用者が順調に増えていて、非常にご努力されているなという感じを受けますが、このウォーキングアプリと連携した事業の実績というのはどれくらいの方がこれを利用されたのか、もし分かれば教えていただいてもよろしいでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

昨年度は計 5 か月間実施し、8 月から 9 月の 2 か月間で 149 名、11 月が 227 名、平成 31 年の 2 月から 3 月の 2 か月間で 297 名でございます。

【細委員】

こまき巡回バスの利用状況データを見て、私なりの意見を述べさせていただきたいです。

まず、資料にある利用者は無料で乗車できる人も含めての数字でしょうか、それがまず 1 点です。

路線の表を見させていただいて、利用者が多い路線もありますが、利用者が非常に少ない路線もあります。

私の感想としては、59 中央道桃花台線コースの 3 月利用者が 360 人で 1 日に 12 人程度しか乗っていないが運行本数が 1 日 13 本ある。逆に小牧・味岡コースを見ると 1 日に 9 本しかない。利用者が多いところより、少ないところの方が本数が多いのは、どういう観点でこのバスを運行しているのが 1 点、お聞きしたいです。

【事務局】（松浦係長）

まず、こまき巡回バスの利用者推移表についてですが、各年度の右横にある「うち 65 歳以上」という項目が無料乗車された方の数です。

平成 30 年度で見ますと、736,216 人は総合計で、そのうち 65 歳以上の方が 493,468 人ということでございます。

味岡を運行する路線と桃花台を運行する路線の違いについてであります、こまき巡回バスは交通空白地域の解消を目的として、朝の 7 時台から 19 時台までを基本として運行しております。

路線図の破線で示してある 50 番台から 60 番台までのコースはワンボックスタイプの車両で運行している路線です。そのうち桃花台地区を運行する路線につきましては、5 コースを 2 台の車両で運行しておりますが、各コースの路線長が短く、1 台あたりの総延長距離も他のコースと比較して短いため、1 日の運行本数が多くなっております。

また、小牧・味岡を結ぶ路線につきましては、路線長が長くなっているものの、地域拠点を結ぶ路線であり、1 日 10 便は確保したいという考えから、20 時台まで運行を行っております。

【磯部会長】

最低限確保しなければいけないものがあると思います。でもたくさん乗っているところを基準にして考えるとほかの路線は少なくなってしまうので、そのあたりの数字をどうやって見ていくかっていうのが難しいっていうのは常にあります。

【細委員】

単純にデータを見たときに、利用者は多いのに便数が少ないので、桃花台の本数が多すぎるということではなくて、どういう理由からそう決められたのかということを知りたかった。

【磯部会長】

交通網形成計画を作ってから2年目に入りましたが、資料の3ページで今年度事業の中にバスがどこにいるか分かるようになるなど、情報関係のものがああります。こういったものも皆さんから意見をいただきながら試行錯誤して大きいものにしていき、皆さんから積極的な評価をもらっていただけだと思います。

それでは他に発言もないようですので、報告(2)「令和2年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート(案)について」に移ります。

この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】(松浦係長)

それでは、報告「(2)令和2年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート(案)について」、ご説明申し上げます。

こちらにつきましては、昨年度2月に開催いたしました平成30年度第3回の本会議におきまして、中間報告をさせていただいておりますので、要点のみご説明させていただきます。

まず、再編の背景と目的であります。

こまき巡回バスにつきましては、お手元に参考資料として配布させていただいております、「こまき巡回バス利用状況」のとおり、昨年度の利用者は、73万人を超え、年々増加している一方で、様々な課題も浮き彫りとなってきており、それらの課題を踏まえるとともに、利用状況や、市民、利用者のご意見なども参考としながら、より効果的・効率的な運行を目指し再編方針・ルート(案)を検討いたしました。

次に課題整理であります。

利用状況や運行状況から、ルートに関する課題として、小牧駅、市民病院、市役所間が重複ルートとなっており効率的とはいえないこと、一周約2時間の長大路線があり、遅延が発生しやすくなっていること、冬季の凍結による通行止めにより、大幅な遅延が発生していること、低利用路線が存在していることが挙げられます。

車両に関する課題としましては、ワンボックス車両における積み残しが発生していること、車いす対応のワンボックス車両が生産・販売中止となったことが挙げられます。

ダイヤに関する課題としましては、毎日同一ダイヤで運行していることによる、遅延と発車待ち時間が発生していること、平日と土日祝日の利用状況・利用目的の傾向が異なっていることが挙げられます。

ページ右側、基本方針(案)をお願いいたします。

再編にあたっては、市民や利用者のご意見、整理した課題等を踏まえ、テーマ、それに基づく方針を設定いたしました。

青枠で囲われておりますが、運行目的として、公共交通空白地域の解消、公共施設の利用促進、サービス水準の基本方針として、前回再編時に設定をいたしました、約1時間に1本の運行間隔、半径500mを利用圏域としたバス停の設置は、維持することといたします。

また、その下、再編のテーマとして、1、定時性の確保、2、積み残しの解消、3、利便性の向上、4、経済性の維持の4つを掲げており、それらを踏まえ、各方針を設定しております。

まず、ルートに関する方針の「1 長大路線を廃止し、すべてのルートを1時間程度とします」であります。こちらは、遅延の発生頻度の減少や、遅延を解消しやすくすること、運転手の負担軽減を目指すものです。

次に、「2 小牧駅、市民病院、市役所をピストン運行する新たなルートを設定します」であります。こちらは、利用者の多い当該区間の偏ったダイヤを平準化し、利便性の向上を目指すものです。

次に、「3 幹線系路線は小牧駅、味岡駅、支線系路線は市民病院、味岡駅、桃花台センターを中心としたルートとします」であります。こちらは、市内の各拠点を結ぶものを幹線系路線、各拠点と交通空白地域を結ぶ路線を支線系路線と定義し、幹線系路線は小牧駅・味岡駅を中心としたルート、支線系路線は市民病院・味岡駅・桃花台センターを中心とした往復、放射状を基本としたルートとすることで、わかりやすさや速達性の向上を目指すものです。

次に、「4 国道41号を跨ぐ高架道路を回避するルートとします」であります。こちらは、冬季の遅延発生を防止し、定時性の向上を目指すものであります。

次に、「5 道路の幅員や勾配に配慮したルートとします」であります。こちらは、車両規格に応じ、道路幅員や勾配を考慮したルートとすることで、安全な運行、利用者の安全、周辺の住環境、交通環境などへ配慮するものです。

次に、車両に関する方針の「6 ワンボックス車両を廃止し、替わりに28人乗り小型ノンステップバスを導入します」であります。こちらは、ワンボックス車両を廃止することで、現行通り車いす利用者にも対応を図りつつ、積み残しの解消を目指すものであります。

次に「7 運行車両台数を現状以下とします」であります。こちらは、運行経費の多くを占めるバスの運行台数や運転手の必要人員について、現状を上回らないようルートを設定することで、運行経費の抑制を目指すものであります。

最後にダイヤに関する方針の「8 平日と土日祝日のダイヤをそれぞれ設定します」であります。こちらは、それぞれダイヤを設定することで、利用状況へ対応するとともに、平日における遅延や、土日祝日におけるバス停での待ち時間の発生の低減を目指します。

つづきまして、資料2の2枚目、ルート（案）について、説明をさせていただきます。

ルート番号、名称は右下に記載しており、ルート名称の右の丸を繋いだ線につきましては、車両1台で複数のコースを運行することを表しております。

また、オレンジ色の「1 小牧駅市役所線」については、2台で運行するものとしています。

ルート設定にあたっては、基本的に現行のバス停を踏襲しつつ、路線の長さや移動需要、地元要望などに応じ、組み換えを行っております。

また、ルートに関する方針の3にもありましたように、現行の循環を基本としたルートでなく、拠点を中心とした往復、放射状を基本としたルートとしており、市内地域拠点と鉄道駅とのアクセスを確保する路線を幹線系路線とし、小牧駅を中心とした路線を幹線系路線小牧駅系統、味岡駅を中心とした路線を幹線系路線味岡駅系統として設定しております。

また、市内の交通空白地域と各地域拠点とのアクセスを確保する路線を支線系路線とし、市民病院・味岡駅・桃花台センターをそれぞれ起終点としており、市民病院系統、味岡駅系統、桃花台系統として設定しております。

番号につきましては、幹線系小牧駅系統を0番台、味岡駅系統を10番台とし、支線系市民病院

系統はホスピタルのH、味岡駅系統はあじおかのA、桃花台系統はとうかだいのTを番号の前につけております。

バス停につきましては、白丸は既存、青丸は新設、赤丸は廃止を表しております。

それでは、先ほどの基本方針のうち、ルートに関する方針につきまして、改めてルート（案）を踏まえ、ご説明させていただきます。

ルートに関する方針の1、長大路線の解消につきましては、現行ルートにおける長大路線である⑮北部東部右まわりコース、及び⑯北部東部左まわりコースについて、小牧駅と桃花台センターを結ぶ青色の「7 桃花台線」、桃花台センターから温水プール等を経由し味岡駅を結ぶ赤色の「13 野口大山線」、味岡駅から東田中を通り小牧駅、市民病院、市役所を結ぶ水色の「12 文津線」の主に3ルートに分割し、長大路線の解消を図っております。

ルートに関する方針の2、小牧駅、市民病院、市役所間の重複につきましては、オレンジ色の「1 小牧駅市役所線」を設定し、2台でこの区間をピストン運行することにより、バスの連なりを解消し、平準化・効率化を図っております。

また、紫色の「3 藤島線」、水色の「12 文津線」は小牧駅、市民病院、市役所は当該区間を運行しますが、ダイヤを調整し、「1 小牧駅市役所線」のピストン運行を補完します。

その他の路線につきましては、小牧駅、市民病院のいずれかに接続することとしております。

ルートに関する方針の4、高架道路の回避につきましては、市北西部であります、黄色の「2 河内屋線」、黄緑色の「H3 村中線」など、ルートを組み換えることにより、高架道路を回避したルートとしております。

ルートに関する方針の5、道路の幅員や勾配に配慮したルートの設定につきましては、現行乗り入れているにも関わらず、車両をワンボックス車両から小型ノンステップバス車両に変更することにより、車両が大きくなることから、道路幅員狭小などにより、乗り入れが出来なくなるバス停が発生しており、それらのバス停につきましては、赤色で表示しております。

市の最も西の市境付近であります、緑色の「H2 三ツ淵北線」のさらに西側「三ツ淵原団地」バス停、市の北部、濃いピンクの「A2 久保一色線」の西側の岩崎原周辺のバス停、「A1 田県線」の東側の田県西団地、久保山団地周辺バス停、市の北東部であります、赤色の「13 野口大山線」の中間あたりの少し北、「林会館」バス停、市の南東部、ピンクの「T4 高根線」の南、高根三丁目周辺のバス停が、道路狭小等により廃止する必要があり、これらにつきましては、可能な限り至近にバス停を設置することで対応を図っております。

また、その他の廃止バス停につきましては、路線の組み換えなどにより廃止としておりますが、基本的に廃止バス停に代わるバス停が至近に設置されております。

なお、ご説明させていただきました内容につきまして、6月17日から、7月16日までの一ヵ月間パブリックコメントを実施したところであり、現在意見につきまして、集計をおこなっておりますので、結果につきましては、次回の会議で報告させていただく予定をしております。

【磯部会長】

ありがとうございました。

現在、バスネットワークの変更を考えていて、具体的の方針を立てて、それに基づいて作業を進めつつ、意見を交換している。今はまだ検討段階で、今日は報告ということでご自由にご発言いただけたらと思いますがいかがでしょうか。

【小川委員】

再編の課題の中に積み残しの解消とありますが、どの路線で発生していて、今回の見直しでどの部分が解消されるのかを教えてください。

【事務局】（松浦係長）

積み残しの発生について、定員に達したことで乗車できなかった方の人数についてですが、昨年度の実績を報告させていただきます。

51 三ツ渚・舟津コースでは年間の運行便数である 6859 便中 6 便で発生し、人数は 13 名でした。52 河内屋・横内コースでは 7942 便中 2 便で発生し、4 名でした。53 春日寺・間内コースは一番発生が多く、6498 便中 48 便で発生し、113 名でした。54 多気・小針コースでは、6498 便中 2 便で発生し、2 名でした。積み残しは以上 4 コースにて発生しております。

これらのコースにつきましては、ワンボックスタイプの車両を廃止することで基本的には積み残しの発生を解消できるものと考えております。

【磯部会長】

なかなか難しいところです。小さな車を入れることで、大きなバスで入れなかったところまでバスが入れるようになって評判がいいというのはあるが、一方で積み残しが発生している。また、事務局が言った数字が多いのか少ないのかということのもかなり議論があると思う。

車両の問題等でいろいろ検討した結果、小さな車両を断念して大きな車両を導入する、非常に悩ましいところだなと思っております。

【小柳委員】

課題整理については、現在の問題点を解決しようということで非常にいいと私は思います。

1 つお聞きしたいのが、桃花台から味岡、市民病院、駅を結んでいる 18・19 コースを 7 と 12 と 13 の 3 コースに分けるということでいいか。

【事務局】（松浦係長）

小柳委員の言われたとおり 7 桃花台線、12 文津線、13 野口大山線の 3 つに分割するイメージです。

【磯部会長】

小牧市の西側の事情と東側の事情が違うので、東側の方は大きく一周するという乗り方があるだろうと想定して、大回りしたということだったが、バスが遅れる、後ろのバス停になればなるほどダイヤが読めないというところもありますし、運転手さんの運転時間が長くなってしまうということもある。

いくつか分割するメリットもあるしデメリットもある。今まで一本で行けたのに乗り継ぎが発生する人も出てくるので、何か利便性が低くならないような配慮が必要になってくるというのが一般論ですが出てくる。その辺がうまくできるかということだと思います。

また、単純に路線が増えるので、覚えるのが大変というのがあるので、支線系路線はアルファベットの H、A、T を付けて整理していくということです。

後は国道 41 号を跨ぐ高架部分がよく冬に通行止めになるので、そういったいろいろな事情を解決す

るために先ほど説明があったように進めてきたということです。

なので、事務局が懸念されていることが別の方法で解決できるのであればそれはそれで話が変わってくるというのがありますので、どうしてそうなるのかというのを説明していただけると新しいアイデアが生まれるかもしれません。

【松浦委員】

運行をさせていただいていますので、その観点からすると、今までやってきたことの課題、問題点をいろいろ拾い出して、それを解決するためにやっていただいている。そこにワンボックス車両の問題も生じて、積み残しの問題もあるので、ポンチョという車に代えるという英断をされて、今までの問題を解決していい案だと思っています。

ただ、利用する方からするとあまり変わるとせっかく覚えたのに分からなくなってしまうというのがあると思うので、定着したらあまり変えないように、最初の内はみんな分からなくなっちゃうと思うので、これは、というのができたら長くやって覚えていただきたいなと思っています。

【磯部会長】

乗り継ぎの必要が出てくる人もいると思うので、どこでどう乗り継いだらいいのか、乗り継ぎ拠点の案内などをしっかりして、何分後に来るのかという情報が使う側は欲しいと思います。

今後この案についてこの会議で議論して、最終的な決を採る必要があるので、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

それでは他にご発言もないようですので、次第の「3 その他」に移りたいと思います。

事務局からお願いします。

【事務局】（松浦係長）

それでは、事務局より1点、次回の会議日程についてご連絡させていただきます。

次回の会議につきましては、2月頃に開催させていただくことを予定しております。詳細な日程、内容等につきましては、後日改めてご通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

先ほど、パブリックコメントについてまとめていると説明がありましたが、今後の再編の流れについて、少し説明していただけるといいかと思います。

【事務局】（松浦係長）

パブリックコメントの募集期間が終了しましたので、今後、ルート、ダイヤを確定して予算を計上していきたいと考えております。予算計上後、運行事業者の選定を今年度末までに実施していきたいと考えております。

そういった中で、2月頃に一度中間報告ということで、パブリックコメントの結果やバス停位置については予算確保できた後に関係機関と調整していく形となっておりますので、そのあたりの状況を次回の会議で報告させていただく予定をしております。

【磯部会長】

そういったわけで、他にも気づいたことがあればまだ間に合いますので、ご意見をお寄せください。委員の皆様の方から他にご発言はありますでしょうか。

【吉岡委員】

名鉄バスの吉岡でございます。

系統ナンバリングということで、巡回バスにも今回の見直しで新たに番号を付けなおすと説明がありましたが、名鉄バスにつきましても、10月から小牧市管内、春日井市管内において系統ナンバリングの設定を始めさせていただきます。

具体的には巡回バスと同様に、系統ごとに番号を振らせていただいて、よりお客様に分かりやすい系統案内ができるように実施をいたします。

当然、弊社ホームページや時刻表に順次反映させていただきます。

10月からスタートという形で、丁度そのタイミングで消費税改定というのもございますので、上限運賃の認可申請はさせていただいているところでございますが、上限認可が下りた後、改めて9月上旬頃に実施運賃の申請というのをさせていただく形になります。

このエリアでも10円程上がる区間もございます。こちらにつきましてもできるだけ早い時期にご利用のお客様にご案内できるようにホームページ等々で定期運賃も含めてご確認ができるよう、順次対応をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

それでは、これをもって令和元年度第1回小牧市地域公共交通会議を閉会します。

皆様、ありがとうございました。